

# 海南省立海南中学校 スクールプラン 2022

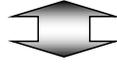
## 第3期和歌山県教育振興基本計画【基本的方向】

- 1 未来を拓く「知・徳・体」をバランスよく備えた人づくり
- 2 信頼される質の高い教育環境づくり
- 3 子供たちの成長を支えるコミュニティづくり
- 4 生涯にわたる学びやスポーツ・文化芸術・文化遺産に親しむ社会づくり
- 5 人権尊重の社会づくり

## 学校教育目標

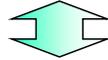
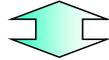
### 「生き抜く力」を培う

将来に生きる確かな学力と豊かな心の育成



### 【めざす学校像】

生徒の自立に向け  
連携・協働する学校



## 海南省教育委員会基本方針

- 1 確かな学力を育成する
- 2 豊かな心や感性を育む
- 3 健康でたくましい心と体を育てる
- 4 社会の一員としての自覚を育てる
- 5 教育における重要課題の解決に取り組む
- 6 学校運営を改善・充実させ、教師としての資質・能力を高める

### 【めざす生徒像】

#### よく学び、心身共に伸びゆく生徒

- よく学ぶことに真摯に向き合う生徒
- 人、物、時を大切にする生徒
- 場に即した挨拶ができる生徒
- 努力することに価値を見出す生徒

### 【めざす教員像】

#### 生徒とともに学び続ける教員

- 生徒の学力を高める教師
- 温かさと厳しさで指導する教師
- 安定した心をもつ教師
- 保護者・地域とのつながりを大切にする教師

## 【めざす学校像】を実現するための4重点項目

### 学力の向上

- ① 学力の定着及び向上のため ICT 活用等指導法の工夫・改善に常に取り組む。
- ② 情報共有・協働により教科間及び学年間の連携を強める。
- ③ 小中連携をはじめ、個々の学びの履歴を観点とした授業改善に取り組む。
- ④ 授業の「ふりかえり」をもとに自学自走の習慣を定着させる。

### 心の育成

- ① 個に応じた関わりを通じて心の安定を培うとともに適応する力を育む。
- ② 特別の教科道徳並びに体験的活動の充実を図り、豊かな情操を養う。
- ③ 実践的な人権教育や生徒指導を通じて、自他を敬う心を養う。
- ④ 発達段階に即したキャリア教育を計画的に進める。

### 体力の向上

- ① 基本的な生活習慣及び心身の健康を自立的に管理する能力を養う。
- ② 食に関する指導を中心に心身の成長と健康について食事や栄養を観点にして考える態度を育む。
- ③ 保健体育科を中心に、自立的に心身の健康を保持増進する力を養うとともに、生涯にわたって運動に親しむ態度を育む。

### 安心・安全の保持

- ① 「生命安全第一」を徹底し感染症防止に取り組む。
- ② 学校運営協議会や各種団体との連携・協働を推進することで安心・安全な教育環境を構築する。
- ③ 誰もが安心して登校できる学校となるよう、いじめ問題や不登校等の課題には組織的・継続的・多層的に対応する。

## 具体的な取組《意識の連続が無意識になる。無意識の意識のし直しが成長になる。》

- ① 教師間で授業づくりの共通事項を設定する。
- ② ノート指導、小テスト等により学習定着度を把握し、生徒個々に適した支援・指導を行う。
- ④ 自学自走の定着のため、各教科とも「学習の手引き」を活用し、適切な家庭学習を課す。  
\* 「着ベル」確認：100%  
\* 「学習のめあて・ふりかえり」実施：100%  
\* 「学習の手引き」活用：100%

- ① 学校生活で生じる課題に対し、主体的に関わりをもち、他者と協同して解決する体験となる学習活動を企画する。
- ② 担任以外も道徳科授業を実施するとともに給食、掃除等の機会を活かし学校職員全員が生徒の育成に関わる。
- ③ 時事的な話題等日常的に取り上げ、人権問題を考える機会を設ける。
- ④ 特別な教育的配慮を要する生徒の情報全職員で共有し、個々に応じた支援・指導を行う。  
\* 全教員が道徳科授業実施：100%  
\* 「親子読書」提出率：95%

- ① 「早寝・早起き・朝ご飯」やネット・スマホ・携帯の使用ルールといった有益な情報を示すなど、心身の成長と健康について具体的に指導する。
- ② 食に関する年間指導計画に即し各学年の指導目標を達成する。
- ③ 体力テストや体育大会等の実施に際しては、生徒一人一人が具体的な目標をもてるよう指導する。
- ④ スポーツの魅力や運動を楽しむことに繋がる情報を随時伝える。  
\* 体力テスト時等目標設定：100%

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスク着用、手洗い・消毒の励行、黙食等を実施する。
- ② 生徒の健全育成を共通の目標に平常時から家庭、民生・児童委員や他機関と連携する。
- ③ HP、学校便り、すぐる等を通じて情報発信を日常化する。
- ④ 目的を明確にした防災訓練、防犯訓練を実施する。  
\* 他との連携機会：複数回/年  
\* 情報発信機会：3回以上/週

### 【働き方改善の方策】

- ① 「ノー残業デー」を実施する。
- ② 情報の共有化と「個人と組織のバランス化」を進める。
- ③ 常に「見直し」の視点をもつ。